

報道関係各位  
プレスリリース

株式会社SkyDrive

**SkyDrive、東京都、三菱地所、兼松と連携し、  
東京ビッグサイトにて「空飛ぶクルマ」のデモフライトを実施  
～旅客ターミナルでのチェックインや保安検査など、  
搭乗手続きの一連の流れを検証する体験モニターも募集～**

「空飛ぶクルマ」（※1）の開発・製造・販売を行う株式会社SkyDrive（本社：愛知県豊田市、代表取締役CEO 福澤知浩、以下「SkyDrive」）は、東京都と三菱地所株式会社（以下、「三菱地所」）、兼松株式会社（以下、「兼松」）と連携し、2026 年 2 月 24 日（火）～2 月 28 日（土）の 5 日間、東京ビッグサイト東棟屋外臨時駐車場を離着陸地点とし、空飛ぶクルマ「SKYDRIVE（SkyDrive式SD-05 型）」のデモフライトを実施することをお知らせいたします。SkyDriveによる東京でのデモフライトは、今回が初となります。

また、空飛ぶクルマに搭乗するまでの一連の旅客動線を、顔認証などの技術を用いた旅客ターミナル施設で体験いただく体験モニターの募集も行います。

デモフライトと旅客ターミナル施設は、どなたでも自由にご見学いただけます。

本取り組みは、東京都の「都内における空飛ぶクルマを活用したサービスのビジネスモデル構築に関するプロジェクト」として実施するものです。（※2）





会場全体イメージ

※掲載画像はイメージです。実際の位置関係、距離感、周辺環境とは異なる場合があります。

		2/24 (火)	2/25 (水)	2/26 (木)	2/27 (金)	2/28 (土)
飛行実証		1回目：9:30 2回目：12:05 飛行開始【各飛行時間は、5～10分を想定】 各飛行後、写真撮影が可能（以降は、格納庫における機体整備のため、見学不可） その他、2回目飛行後、特別に立入禁止としている離着陸場所でも、以下のとおり見学・撮影が可能です。 ※2/24、25：体験モニターの皆さまに限り、機体近くでの見学及び写真撮影をご体験いただけます。 ※2/28：一般来場者の方にも、機体近くでの見学及び写真撮影の機会をご提供いたします。				
ターミナル見学	8:30～ 午前	8:30～10:30 【関係者枠】	8:30～12:30 【関係者枠】	見学自由	13:00～14:00 オペレーションルーム開放	8:30～13:30 【関係者枠】
		見学自由				
	午後 ～17:30	13:00～16:30 【体験モニター枠優先】	見学自由	見学自由		見学自由
		見学自由				

※当日の天候により、スケジュールの変更の可能性があります。

スケジュール

## ■ デモフライトの概要

東京のランドマークである東京ビッグサイトの東棟屋外臨時駐車場を離着陸地点としたデモフライトを実施します。駐車場の敷地内または離着陸場から海上までを周回するルートを計画しています。

本デモフライトは、2025 年大阪・関西万博と大阪港パーティポートでの公開フライト（※3）に使用された機体と同型の「SKYDRIVE（SkyDrive 式 SD-05 型）」を使用します。パイロットは搭乗せず、自動制御とリモート操縦による安全を徹底した運航を行います。



- 期間：2026 年 2 月 24 日（火）～2 月 28 日（土）の 5 日間
- 時間：飛行 1 09 時 30 分  
飛行 2 12 時 05 分
- 料金：無料
- 場所：東京ビッグサイト（東京都江東区有明 3-11-1）東棟屋外臨時駐車場

- ※ 毎日、飛行終了後の機体移動時に写真撮影の機会を設ける予定です。特に、最終日となる 28 日（土）については、2 回目飛行後の離着陸場所において、どなたでも機体に近づいて見学・写真撮影等が可能な時間を設定します。（係員の誘導に従ってください）
- ※ 運航にあたっては関係当局への申請・届出・許可を前提としております。
- ※ 天候状況を見て最適なタイミングで運航を行うため、フライトは 10 分程度前後する可能性があります。また、デモフライトが中止となる場合がありますので予めご了承ください。
- ※ 観覧エリアが混雑しすぎて危険な状況になったと判断される場合、安全を考慮して見学をお断りさせていただく場合がございます。



デモフライト飛行エリアイメージ

## ■ 体験モニター募集の概要

空飛ぶクルマの旅客ターミナル運用の検証を行うために、以下のとおりに実施する体験モニターを募集します。

空飛ぶクルマに搭乗するまでの一連の旅客動線を、顔認証などの技術を用いたターミナル施設で体験いただき、そのフィードバックを今後の社会実装に向けたサービス・オペレーシ

ヨン改善に活かすことを目的としています。

- 期間：2026年2月24日（火）～2月25日（水）
- 各日体験枠（各30分程度）
  - 第1枠：13：00－13：30
  - 第2枠：13：45－14：15
  - 第3枠：14：30－15：00
  - 第4枠：15：15－15：45
  - 第5枠：16：00－16：30
- 募集人数：各枠10名（合計100名）
- 参加費：無料（事前申込制・先着順）
- 応募対象：成人（未成年者は保護者の同伴が必要）
- 応募方法：<https://tokyodemonstration-airmobility.peatix.com>
  - ※ モニター参加の条件として「アンケート回答・顔認証手続きのための事前写真登録」など協力いただく事項がございます。対象者には別途事務局より連絡いたします。応募ページを確認のうえ、ご応募ください。
- 主な旅客体験：顔認証チェックイン、保安検査、安全ビデオ視聴、搭乗ゲート等
  - ※ 体験モニターの方も機体への搭乗はできません。
  - ※ 当日2回目の飛行後に、離着陸場所の機体に近づいて見学・写真撮影等が可能な時間を設定します。また、一連の搭乗手続き体験を行った後、機体の運航管理等を行うオペレーションルームにて空域や気象の監視システム等を含め見学いただく予定です。



©Skyports

旅客ターミナル（内観イメージ） ※写真は英国 Bicester Motion のターミナル施設

## ■ 旅客ターミナル見学の概要

実証期間中は、8:30～17:30 の間、ターミナル検証のモニター参加者に関わらず、どなたでも会場にお立寄りいただくことが可能です。ただし、以下の時間帯はターミナル内を見学はできません。

- 2月24日（火）08:30～10:30 / 13:00～16:30
- 2月25日（水）08:30～12:30 / 13:00～16:30
- 2月28日（土）08:30～13:30

また、機体の運航管理等を行うオペレーションルームを以下の時間帯で公開します。

- 2月26日（木）13:00～14:00
- 2月27日（金）13:00～14:00

※オペレーションルーム内での、写真撮影・機器への接触はお控えください。



©Designed by Mitsubishi Jisho Design

旅客ターミナル（外観イメージ）（縦約 7m×横約 12m×高さ約 3m）

## ■ 背景

SkyDrive は、「100 年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに、「日常の移動に空を活用する」未来を実現するべく、2028 年の商用飛行開始を目指して、空飛ぶクルマの開発をしています。

東京都では、人やモノの移動革命をもたらす都民の生活の質（QOL）を高める次世代の移動手段となる「空飛ぶクルマ」の社会実装に向けた取組を推進しています。2025 年度から「空飛ぶクルマ実装プロジェクト」を立ち上げ、2030 年の市街地での商用運航の実現を目指しています。デジタルサービス局では、都内における空飛ぶクルマを活用したサービスの早期事業化を目指し、2022 年度から 2024 年度の 3 年間、ビジネスモデル構築に向けた民間事業者への支援を行ってきました。



三菱地所と兼松は、2022 年より、東京都内における空飛ぶクルマを活用したサービスを早期に事業化することを目的として、ビジネスモデルの検証、新丸ビル屋上と臨海部を繋ぐ航路におけるヘリコプターを活用した移動体験の技術検証をおこなってきました。

今回、空飛ぶクルマの離着陸場の設置・運用事業を世界中で展開する英 Skyports 社の協力により、Vertiport Automation System (VAS)（※4）を備えた空飛ぶクルマの離着陸場を設置し、東京都と三菱地所、兼松、SkyDrive が協力して、当該ポートにて SkyDrive が開発を進める空飛ぶクルマ実機を用いたデモフライトを行うことで、運航実証及び地上オペレーション（離着陸管理・シミュレーション、チェックイン・保安検査、周辺安全管理・監視）や都内で実際に空飛ぶクルマを用いた運送事業を実施するにあたってどのような実務課題があるのか洗い出し、課題解決に向けて着実に前進させることを目的としてデモフライトを実施いたします。

## ■ 各社役割



※1 空飛ぶクルマとは：電動化、自動化といった航空技術や垂直離着陸などの運航形態によって実現される、利用しやすく持続可能な次世代の空の移動手段です。諸外国では、Advanced Air Mobility (AAM) や Urban Air Mobility (UAM) と呼ばれています。

引用元：国土交通省（令和 6 年 4 月付） <https://www.mlit.go.jp/koku/content/001739488.pdf>

※2 東京都「都内における空飛ぶクルマを活用したサービスのビジネスモデル構築に関するプロジェクト」  
<https://www.metro.tokyo.lg.jp/information/press/2025/05/2025053014>

※3 当社関連プレスリリース：

<https://skydrive2020.com/archives/64782> / <https://skydrive2020.com/archives/66607>

※4 Vertiport Automation System (VAS) とは：

空飛ぶクルマの離着陸場の運用を自動化・最適化するシステムです。離着陸場の空き状況管理や周辺空域の監視などの運航支援、地上設備を始めとしたリソースのデジタル管理、チェックインや顧客管理をシームレスに行う顧客体験に必要な機材を配置することで、空飛ぶクルマの安全・安心な高頻度運航の実現を支援します。

≪株式会社SkyDrive 概要≫

設 立	2018 年 7 月
代 表 者	代表取締役CEO 福澤知浩
U R L	<a href="https://skydrive2020.com/">https://skydrive2020.com/</a>
所 在 地	<p>豊田本社：愛知県豊田市挙母町 2-1-1</p> <p>豊田開発センター：愛知県豊田市西中山町山ノ田 20-2</p> <p>豊田テストフィールド：愛知県豊田市足助地区</p> <p>名古屋空港オフィス：愛知県西春日井郡豊山町大字豊場 県営名古屋空港 2F</p> <p>東京オフィス：東京都千代田区平河町 1-3-13 平河町フロントビル 3F</p> <p>大阪オフィス：大阪府大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第一ビル 8F</p> <p>山口テストフィールド：山口県山口市阿知須</p>
子 会 社	<p>株式会社Sky Works：静岡県磐田市</p> <p>SkyDrive America, Inc. : Beaufort, South Carolina 29902, U.S.A.</p> <p>株式会社AlterSky：愛知県豊田市</p>
事業内容	<p>「100 年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに、「日常の移動に空を活用する」未来を実現するべく、2018 年 7 月に設立、愛知県豊田市を主拠点に「空飛ぶクルマ」を開発し、静岡県磐田市のスズキグループの工場 で製造を開始しています。官民協議会の構成員として制度設計にも関与、2020 年に日本で初めて公開有人飛行試験に成功、2025 年には大阪・関西万博にてデモフライトを実施しました。2028 年のサービス開始を目指し、引き続き機体開発に努めてまいります。</p>

本件に関するお問い合わせ

≪株式会社SkyDrive≫

広報 石井

携帯：090-6389-3584

Email: [info@skydrive.co.jp](mailto:info@skydrive.co.jp)

<https://skydrive2020.com/contact>